

第2回湖北広域行政事務センター施設整備計画検討会 概要

1. 開催日時 平成27年8月5日（水） 午前9時55分～午前11時45分
2. 開催場所 湖北広域行政事務センター クリスタルプラザ（長浜市八幡中山町200番地）
工場棟 3階 小会議室
3. 出席者 13名（委員9名 事務局4名）
4. 議題 （1）施設整備のあり方
（2）今後の検討会の予定

5. 会議

（内容）

- 1 開会
- 2 会議の公開について
- 3 説明事項・質疑
- 4 今後の予定
- 5 その他
- 6 閉会

（開会）

午前9時55分開会

（会議の公開について）

「湖北広域行政事務センター情報公開条例」に基づき、本会議を公開することについて確認。

（説明事項）

1 施設整備のあり方についての説明

（斎場についての移動時間等、必要炉数等の検討、各施設の集約化整備を前提としたい。）

（質疑）

1 施設整備のあり方について

（委員）資料で県内の他の斎場施設で、斎場施設までの移動時間について1時間くらいかかっても特に問題はなく、湖北広域管内で斎場施設が1箇所に集約することについても問題がないのはわかるが、ごみ処理施設等と斎場施設を集約化することについて議論できる資料が必要である。

・集約化により、ごみ処理等で得られた電力を内部的に効果的に利用できることは非常によいことであり、方向性としてはよいと思う。また、この種の施設は建て替えが必要になるので、集約化で用地が広いと非常に実施しやすいしお金も削減できる。

（委員）建物は後で炉数を増やすなら、最初からその規模で設計すべきだが、炉数は最初から規模に

見合った炉数を整備するのがいいのか、どこかの時点で増設整備をするのがいいのか、現存施設の更新などを計算しないと決められない。そのデータの資料がない。

（委 員）現状の斎場の稼動について、タイムスケジュールを提出いただきたい。

・斎場というのは、下水道施設やごみ処理施設のように補助金があり、人口規模によって施設規模などがしっかり決まっているものではない。関東の方では民営化が進んでいて、東京などでは1日3回稼動している。逆に関西の方は民営化が進んでいないので、自治体等が運営せねばならない。この地域の土地の慣習を考えると、火葬を1炉1日3回はなじまないと思う。

（委 員）葬儀等では、来てもらう方を考慮して、早くてもお昼前のお出棺になり、夕方までは難しいので、現状では1日2回が限度である。

・この地域の実情の回数で炉数を算出するのがよい。本当にこの地域で2回というのが受け入れられるのか。

・今、施設の規模で議論が集中しているが、施設の設置を決めるときは、規模と数と位置が重要である。規模は今の長浜・米原の将来人口からすると7炉くらい。7炉だと一箇所ですむ。次に位置だが、こもれび苑の位置で移動時間が30分以上かかるところは少しなので、だいたい長浜の真ん中の辺りになる。あと、ごみ処理施設と斎場施設の集約化の理由が足りない。

・次回にはもう少し詳しい資料を提出してほしい。費用の面、利用者の面でも問題がなく、ごみ処理場と斎場を集約化すればエネルギー、用地などメリットが大きいというような資料を用意してほしい。

・今回はこもれび苑の建て替えの議論だが、木之本斎苑などは、新しい斎場ができれば、延長運用が可能でもしない方向なのか。

（事務局）使用できるところまでは使用する。現行施設の運用や統合について整理する。

（委 員）資料の斎場施設の考え方とところで、こもれび苑の近くでの施設設置が前提のような表現に受け取れるが。

（事務局）新しい場所を検討するものなので表現等を精査する。

（今後の予定）

事務局で調整し、連絡する。

（その他）

特になし。

（閉会）

午前11時45分閉会

以上